

科目名	歴史Ⅱ HistoryⅡ			担当教員	與田 純		
学 年	2 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	17120013	単位区分	履修単位
学習目標	我が国の歴史の展開を、我が国を取り巻く国際環境などとも関連づけながら世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化、伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。						
進め方	地球的視点から多面的に物事を考える能力：我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って多面的・多角的に捉えさせ、21世紀の課題についても考察する能力を育成する。年間の授業を通して、学習教育目標「粘り強く取り組む姿勢」等の学習態度を培っていく。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 縄文時代の社会(2) 2. 弥生時代の社会(2) 3. 大和政権の成立と勢力伸張(2) 4. 飛鳥時代の政治(2) 5. 律令国家の成立(2) 6. 奈良時代の社会(2) 7. 辺境地方の征服(2)			縄文・弥生時代の特徴と違いを説明できる。 日本に古代国家が誕生する経緯と、当時の国際社会との関係を理解している。 蝦夷の歴史と文化を理解している。 学習・教育目標：(A-1)			
	[前期中間試験](1)						
	10. 鎌倉幕府の成立と発展(2) 11. 室町幕府の成立と発展(2) 12. 下剋上の社会(2) 13. 戦国の動乱(4) 14. 大航海時代の余波(3) 15. 織豊政権の成立(2)			武家政権の成立から戦国時代までの社会・文化における武士が政治力をつけていく過程を理解している。 武家政権とそれを取り巻く世界情勢との関係を説明できる。 学習・教育目標：(A-1)			
	前期末試験						
	試験返却(1)						
	17. 江戸幕府の成立(2) 18. 幕藩体制の展開(2) 19. 幕政の改革と衰退(2) 20. 開国と社会の変動(2) 21. 尊王攘夷運動(3) 22. 攘夷から倒幕へ(4)			江戸時代の成立経過と、鎖国体制の確立、その特徴を理解できている。 尊皇攘夷運動の高揚と倒幕の経過、戊辰戦争の概要と重要事項を理解できている。 学習・教育目標：(A-1)			
	[後期中間試験](1)						
	23. 明治維新と新政府の成立(3) 24. 岩倉使節団と征韓論(2) 25. 西南戦争(2) 26. 文明開化(2) 27. 自由民権運動の展開(2) 28. 日清・日露戦争(4)			明治政府の近代化政策と西南戦争に至る経緯と概要を理解できている。 日清・日露戦争の経緯と概要を理解できている。 学習・教育目標：(A-1)			
	後期末試験 試験返却(1)						
評価方法	・評価の内訳は、発表点を6%、定期試験結果を94%とする。 ・学習項目ごとの全体評価への重みは、1.～4.のそれぞれについて25%、25%、25%、25%とする。						
履修要件	特になし。						
関連科目	歴史Ⅰ（1年） → 歴史Ⅱ（2年） → 人文科学Ⅰ（4年）						
教 材	特になし。						
備 考	単位追認試験は次年度の9月（前期範囲）と1月（後期範囲）に実施する。再試験の実施については、受講者全体の平均点を考慮して判断する。						